

路地百選推薦書

推薦者氏名：司波 寛

推薦する路地（のまち）の名称	先斗町
所在地	京都市中京区拍屋町～橋下町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

1 間半程の路地が鴨川に平行している。北の 3 条の鴨川側にはレンガ造り 4 階建て歌舞練場があり、踊り子さん方の芸を見せる場となっている。ここから 4 条大通りまでの路地には、びっしりと京都らしい店（大部分は飲食店）が並んでいる。加茂川に面した店は、川に向けて開いた座敷をもっているのがあり、夏には鴨川に張り出した栈敷（床）をつくり、客を迎える。その反対側は、角倉了以が普請した高瀬川沿いの木屋町通りに面しており、先斗町とは所々で半間ほどの路地でつながっている。

先斗町には安い庶民的な店から高級な店までそろっているので、幅の広い客層をもっている。通り抜けできないのもあり、その場合は「通りぬけられまへん」と上品な札が見える。

【写真添付】



所々で広がったり、曲がったり。

先斗町と直角に半間程度の路地がある

路地	面積	約 h a	路地の延長	約 1 キロ
のまちの成り立ち、のまちの概要	のまちの成り立ち、のまちの概要	<p>もともとは鴨川の州で、江戸時代初期に護岸工事で埋立てられ、新河原町通と呼ばれていた。繁華街としては茶屋、旅籠などが置かれたのが始まりです。すでに芸妓、娼妓が居住するようになり何度も取り締られていたが当時、川端二条にあった二条新地の出稼ぎ地として認められ、明治初期に独立をした。明治 5 年(1872 年)に鴨川をどりが初演され、先斗町は花街としての花を開かせた。(wikipedia)</p> <p>先斗町を何故ポイント町と呼ぶのか、ポルトガル語の「先っちょ」という意味の言葉から来たという説が有力だが、では何で、誰がそうしたのかは、不明。分かる人いたら教えてください。</p>		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。